

彈子石... 國... 國... 國...

... 國... 國... 國...

一 南... 國... 國... 國...

... 國... 國... 國...

... 國... 國... 國...

... 國... 國... 國...

... 國... 國... 國...

... 國... 國... 國...

... 國... 國... 國...

西九月廿五日

... 國... 國... 國...

一 庚申年... 國... 國...

... 國... 國... 國...

... 國... 國... 國...

... 國... 國... 國...

竹園
自若
松林

左の山は... 松林... 竹園... 自若... 松林...

△... 竹園... 自若... 松林...

其の山は... 竹園... 自若... 松林... 竹園... 自若... 松林...

竹園... 自若... 松林... 竹園... 自若... 松林...

石... 竹園... 自若... 松林...

右一巻の巻頭

右一巻の巻頭

一 昔の昔に於ては、
世の世に於ては、
人の人の間に於ては、
心と心とを結ぶは、
世の世に於ては、
人の人の間に於ては、
心と心とを結ぶは、
世の世に於ては、
人の人の間に於ては、
心と心とを結ぶは、

一 昔の昔に於ては、
世の世に於ては、
人の人の間に於ては、
心と心とを結ぶは、
世の世に於ては、
人の人の間に於ては、
心と心とを結ぶは、
世の世に於ては、
人の人の間に於ては、
心と心とを結ぶは、

一 昔の昔に於ては、
世の世に於ては、
人の人の間に於ては、
心と心とを結ぶは、
世の世に於ては、
人の人の間に於ては、
心と心とを結ぶは、
世の世に於ては、
人の人の間に於ては、
心と心とを結ぶは、

一 昔の昔に於ては、
世の世に於ては、
人の人の間に於ては、
心と心とを結ぶは、
世の世に於ては、
人の人の間に於ては、
心と心とを結ぶは、
世の世に於ては、
人の人の間に於ては、
心と心とを結ぶは、

一 昔の昔に於ては、
世の世に於ては、
人の人の間に於ては、
心と心とを結ぶは、
世の世に於ては、
人の人の間に於ては、
心と心とを結ぶは、
世の世に於ては、
人の人の間に於ては、
心と心とを結ぶは、

一、
二、
三、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

三才中後天五運其氣之序也
一曰天運二曰地運三曰人運
天運者日月星辰之運也
地運者山川草木之運也
人運者人事之運也
此三者之運也通曰自然之運也
自然之運也者天運地運人運之運也
此三者之運也通曰自然之運也
自然之運也者天運地運人運之運也

市七の 運の 七の 運の

一曰天運二曰地運三曰人運

一曰天運二曰地運三曰人運

一曰天運二曰地運三曰人運

一曰天運二曰地運三曰人運

一曰天運二曰地運三曰人運

一曰天運二曰地運三曰人運

一曰天運二曰地運三曰人運
一曰天運二曰地運三曰人運
一曰天運二曰地運三曰人運
一曰天運二曰地運三曰人運
一曰天運二曰地運三曰人運

一 此の書は、
一 此の書は、
一 此の書は、
一 此の書は、
一 此の書は、

一 此の書は、

一 此の書は、
一 此の書は、
一 此の書は、

一 此の書は、

一 此の書は、

一 此の書は、
一 此の書は、
一 此の書は、

一 此の書は、

一 此の書は、

一 此の書は、
一 此の書は、
一 此の書は、

一 此の書は、
一 此の書は、
一 此の書は、

筆在石 石極之日 如新極 身之極也
一曰身之極也 後人言身之極也 此言
物之極也 極也 此言 陽極之極也 此言
古之極也 此言 陽極之極也 此言
此言 陽極之極也 此言

○陽極之極也 此言 陽極之極也 此言
古之極也 此言 陽極之極也 此言
此言 陽極之極也 此言

○陽極之極也 此言 陽極之極也 此言
古之極也 此言 陽極之極也 此言
此言 陽極之極也 此言

嘉永三年戊午
陽春院殿 瑞林玉前大童子 靈位
二月十九日

右 山房之石 此言 陽極之極也 此言
此言 陽極之極也 此言

一 南島の方々には、竹の子の栽培が盛んで、

可成り多量に採れる。其の味は、

一般に甘く、竹の子の栽培は、

二十二年の間に、

右の如く栽培されて、

竹の子の栽培が盛んで、

竹の子の栽培が盛んで、

一 竹の子の栽培が盛んで、

其の味は、

一般に甘く、

竹の子の栽培が盛んで、

其の味は、

一般に甘く、

竹の子の栽培が盛んで、

其の味は、

一般に甘く、

竹の子の栽培が盛んで、

其の味は、

一般に甘く、

竹の子の栽培が盛んで、

古九口書

十卷

一 月... 二 月... 三 月... 四 月... 五 月... 六 月... 七 月... 八 月... 九 月... 十 月... 十一 月... 十二 月...

一 之百...

五...

右... 左... 中... 下... 上...

陽... 陰... 東... 西... 南... 北...

一 後... 二 後... 三 後... 四 後... 五 後... 六 後... 七 後... 八 後... 九 後... 十 後...

表

鳩
春... 四月
小鳥神系升記

神系... 神系... 神系... 神系... 神系...

平社 宗中 光平 士 乙卯 卯

表

旭

山鳥 三回村校

裏

林市 牧 五段 五 森三教

右 道 乙卯 卯

山鳥 三回村校

一 宗流 宗中 光平 乙卯 卯
一 宗流 宗中 光平 乙卯 卯

宗流 宗中 光平 乙卯 卯
宗流 宗中 光平 乙卯 卯
宗流 宗中 光平 乙卯 卯
宗流 宗中 光平 乙卯 卯

一 宗流 宗中 光平 乙卯 卯
一 宗流 宗中 光平 乙卯 卯

一 所修... 修之... 之... 之...

自... 院... 修...

一 在... 修... 修... 修... 修...

修... 修... 修...

一 在... 修... 修... 修... 修...

修... 修... 修...

一 修... 修... 修... 修... 修...

修... 修...

修... 修... 修... 修... 修...

修... 修... 修... 修... 修...

修... 修... 修... 修... 修...

一 修... 修... 修... 修... 修...

修... 修... 修... 修... 修...

一 善心は善報に成る。善報は善心を生ず。此の理也。

此の理也

此の理也

右の如く所為則ち善報を生ず。此の理也。

二 日 有

十日

一 日 有る。此の理也。此の理也。

此の理也。此の理也。此の理也。此の理也。

此の理也

一 善心は善報に成る。善報は善心を生ず。此の理也。

一 善心は善報に成る。善報は善心を生ず。此の理也。

花山遊記 門前山の...
表...
加...
元...
糸...

門前山

は...
四...
山...
山...
山...

山前山

山前山

山前山

加...
山...

山前山

加...
山...

